

第1編 法人の部

1 中期事業計画の推進

令和6年度を初年度とする「中期事業計画」は、5年間における経営理念の実現に向けた具体的目標とそれを達成するための取組方針を定めたもの。7年度は4つの基本方針の下、個別の事業を実施した。

① コンプライアンスの徹底と公正で透明性高い組織構築

倫理や法令等の遵守の徹底に向けた管理体制を整備し、社会的ルール遵守の重要性について普及啓発した。また、理事会と評議員会、理事、監事及び評議員の相互牽制機能を十分に果たし、緊張感ある法人経営の実現と計画的かつ効率的な事業運営に努めた。

② 利用者の人権尊重と福祉サービスの質の向上

利用者の人権を尊重し尊厳を守るため、虐待等の早期発見・早期対応に向けた取り組みを強化し、個人情報保護に最大限配慮し、利用者の私有財産の適切な管理のため、成年後見制度の活用を促進した。また、利用者に対するサービスの質の向上を図るとともに、安全面へは最大限の配慮を行った。

③ 地域における公益的取組みと情報発信

地域の「福祉の総合相談窓口」として、多様な相談に応じる機能や適切な機関につなぐ機能を発揮し、新たな公益的取組や他の機関との連携・協働による取組について検討した。また、経営の透明性を確保するため、法人の業務及び財務情報などを社会や地域に対して積極的に公表した。

④ やりがいある職場環境づくりと人材育成

業務の標準化等により統一した業務行動を実践し、ICT等を活用した業務の効率化を積極的に推進。また、職員の募集・採用を図るとともに、職員が多様な働き方を選択できる職場を実現し、将来展望を持てるよう努めた。さらに、資格取得の促進や研修受講を奨励するなど人材育成に努めた。

2 重点取組の状況

(1) サービスの質の向上と人材育成

職員の資質向上や専門知識の取得、高度な介護技術が求められており、これらの課題を克服するよう、外部団体が主催する研修会等への参加を促進（年間延べ54名）するとともに、「社会福祉士」や「精神保健福祉士」など、利用者の支援に有益な資格の取得を促進するため助成制度を用意。令和7年度新規取得者は、精神保健福祉士1名。これにより、令和8年3月31日現在の在籍職員の延べ資格取得者数は「社会福祉士9名」「精神保健福祉士4名」「介護福祉士10名」となった。

(2) 権利擁護の徹底

職員に対し人権の擁護及び虐待の防止等に関する研修を行い、常に利用者や保護者に対して人権の擁護及び虐待の防止等に意識を持って支援してきた。

(3) リスクマネジメントの強化

緊急時だけでなく、普段からリスクを前提にした思考や行動ができるよう、職員間で話し合うとともに、訓練を重ねてきた。

■避難訓練・火災訓練等		表中「訓練・備蓄等」の項目で「※」を付したものは「防災棟」に収納	
訓練・備蓄等	具 体 的 内 容		実施状況等
○火災避難訓練	・館内放送に従い出火場所から遠い場所へ避難		年6回
○消火訓練	・消防機器取扱事業者の指導による訓練など（4・7月）		年2回
○地震・津波避難訓練	・館内放送の指示に従って決められた場所に避難		月1回
○AED操作訓練	・阿南市消防署の指導による訓練（9・10月）		年2回
○非常食の備蓄 ※	・水、白飯、五目飯、ドライカレー、パン、缶詰等		1,200食分
○非常時の水の備蓄 ※	・飲料水2リットル入りペットボトル		600本
○災害用品の備蓄 ※	・ポータブルトイレ、タオル、毛布、懐中電灯等		非常時使用
○防犯装置	・セコム(株)に警備委託。別に防犯カメラ設置。		防犯カメラ8台設置

<感染症の発生状況>

① 利用者等の感染状況

発生時期	学園利用者		学園職員	ミント職員	計	特記事項
	入所者	通所者				
令和7年5月			1		1	※ 5月から12月までの感染者はすべて新型コロナ
6月			1		1	
8月			1		1	
9月			1		1	
11月	34	2	14		50	※ 新型コロナの集団感染 (11月14日から同月24日までの間に50人感染)
12月		1			1	
令和8年1月	28	5	6		39	※ インフルエンザA型の集団感染 (1月14日から2月9日までの間に67人が感染)
2月	19		9		28	
総数	81	8	33	0	122	

② クラスタ発生に伴う対応

- ・ 静養室を隔離部屋に転用し、隔離期間が経過するまで感染者が生活できるよう、日中及び夜間にそれぞれ担当の職員を充てて対応。隔離場所で使用した感染性の廃棄物は、他の場所に移さずごみ袋に封入の上、専門業者に処分等を委託。
- ・ 隔離場所で生活する利用者の食事は使い捨て食器を使用。その他の利用者も密を避け、時間差で食堂を利用。また、入浴も密を避けて利用するよう努めた。
- ・ 感染防止対策に万全を期すため、県から配布された抗原検査キットや感染対策用品のほか、必要に応じて衛生用品や感染対策物品等を購入。
- ・ クラスタ発生から収束するまでの間、通所者の生活介護、短期入所及び日中一時の受入れを中止するとともに、入所者の帰省や外出、保護者等との面会を制限。また、入所者が学園外で行う行事や外部の皆さんが来園して実施する行事については、延期・中止又は内容の変更で対応。

③ 日常の感染防止対策

- ・ 職員は「マスクの着用」「手指消毒の徹底」を図るとともに、発熱がある場合は休暇をとるよう指示。
- ・ 利用者には、定期的に検温を実施し、37.5度以上の場合は他の利用者から隔離。
- ・ 園舎内の消毒の徹底を図るとともに、こまめな換気に留意。

(4) 財政状況の安定化

上質なサービスを安定的に提供するためには、財政基盤の安定が不可欠。そのためには、常に無駄な支出を減らすとともに、事業活動収入の約8割を占める「生活介護」「施設入所支援」などの介護給付費に係る利用率向上による収入増を目指した。

(5) 施設・設備の整備

現在地への新築移転から20年以上が経過し、施設の修繕や設備の更新が必要となっていることから、社会福祉充実残額の活用などにより施設の改修等を行うとともに、器具及び備品の整備を進めた。

■施設・設備等の整備状況					
No	施設・設備等の整備箇所等	整備の状況			
		取得時期	整備の内容	金額(千円)	業者名
1	ノートパソコン購入	令和7年 04月08日	・ 利用者の支援状況記録ソフト「ほのぼの」を入れたパソコンの更新	205	(株)金剛
2	〃	令和7年 04月17日	・ 利用者の支援状況記録ソフト「ほのぼの」を入れたパソコンの更新	205	(株)金剛
3	食堂等のカーテン更新	令和7年 04月24日	・ 食堂等に設置している遮光カーテンが老朽化したため更新	475	ナカノ内装 中野聡一郎
4	天井扇交換工事	令和7年 05月20日	・ 居住棟女子1階の静養室・便所に設置している天井扇が故障したので交換	319	清水建設(株)
5	作業棟等周辺の舗装改修工事	令和7年 05月23日	・ 作業棟・食堂棟周辺の舗装路面のうねりや割れ等を改修	6,127	清水建設(株)
6	学園駐車場舗装改修工事	令和7年 05月23日	・ 学園駐車場の舗装路面のうねりや割れ等の改修と駐車ラインの引き直し	7,403	清水建設(株)
7	学園出入口舗装改修工事	令和7年 05月23日	・ 学園出入口周辺の舗装路面のうねりや割れ等の改修と駐車ラインの引き直し	6,270	清水建設(株)
8	浄化槽流量調整ポンプ取替工事	令和7年 06月05日	・ 浄化槽の流量調整ポンプが経年劣化に伴い能力が低下したため緊急に取替	102	アミューサービス 臼井春樹
9	管理棟女子トイレ便器取替工事	令和7年 06月27日	・ 洋風便器のウォシュレットが故障したため、器具を取替	220	(株)四電工
10	全自動洗濯機の更新	令和7年 07月11日	・ 既設置の全自動洗濯機が経年劣化で故障したので更新	103	(有)タニモトデンキ
11	男子棟1階廊下壁面改修工事	令和7年 07月15日	・ 廊下壁面の破損で穴があき危険なため、急ぎ修繕を実施	117	ナカノ内装 中野聡一郎
12	デスクトップパソコン購入	令和7年 09月12日	・ Windows10のサポート終了に伴い、Windows11対応パソコン2台購入	443	(株)金剛
13	普通自動車更新	令和7年 09月22日	・ JKAの補助(220万円)を受けて、通所者の送迎用車両を更新	3,787	トヨタカローラ徳島(株)
14	パソコン購入	令和7年 10月16日	・ Windows10のサポート終了に伴いWindows11対応パソコン13台購入	2,416	(株)金剛
15	VPNルーター購入	令和7年 11月14日	・ VPN対応ルーターが老朽化し安定的運用ができないため、ルーターを取替	185	(株)金剛
16	給湯用補給水管漏水修繕工事	令和7年 12月19日	・ 給湯用補給水管から漏水しているため、急ぎ修繕	143	(株)四電工
17	無線LANアクセスポイント設置工事	令和7年 12月26日	・ 夜勤室の良好なWi-Fi環境のため、新たに無線LANアクセスポイントを設置	125	(株)金剛
18	誘導灯設備の交換工事	令和8年 02月18日	・ 誘導灯の蛍光灯をLED照明に変更するため器具を更新	1,298	(株)芝原電気メンテ
19	給食用食器購入	令和8年 02月18日	・ 利用者や職員の給食用に使用している食器類を更新	1,175	厨房機器サービスキムラ 代表者 木村雅美

(6) 社会貢献活動

自主防犯パトロールとして、1週間に3～4回、地元の富岡・見能林地区を3方面に分け、小・中学校の下校時に合わせて青色防犯パトロール活動を行った。(7年度は37回、延べ78名従事)

また、淡島海岸や浜の浦緑地(桑野川)での清掃ボランティアに参加するとともに、日頃、利用者が休憩に立ち寄る東部公園における月1回の清掃活動などの園外活動を実施。さらに、毎月1回、第2土曜の午後、障害の有無に関係なく気軽に茶飲み話をしたり、レクリエーションを楽しむことができる場所を提供する「ほんわかカフェ」を開設し、学園に対する理解を深めた。

1回当たり
平均10名程度

3 法人の役員等の状況

区分	定数	役員等の氏名(敬称略)	任 期
評議員	7名	松原良明、窪田光子、大松谷武司、尾崎正憲、松原和子、内海 剛、山崎師郎	令和11年6月の定時評議員会の終結時まで
理 事	6名	三牧スマ子(理事長)、蟻馬 治(業務執行理事)、田中敏彦、高谷篤芳、岩崎世都子、豊田修一	令和9年6月の定時評議員会の終結時まで
監 事	2名	東野 享、青木光男	同 上
評議員選任・解任委員	3名	松崎清治(外部委員)、東野 享(監事)、石橋さよみ(事務局)	令和10年6月の定時評議員会の終結時まで

4 評議員会・役員会等の開催状況

(1) 評議員会の開催

○定時評議員会

開催日 令和7年6月14日(土)
 場所等 淡島学園会議室/評議員7名、理事長、監事2名出席
 議 題 報告事項 令和6年度事業報告の件
 第1号議案 令和6年度計算書類等の承認の件
 第2号議案 社会福祉充実計画の承認の件
 第3号議案 理事及び監事の選任の件

○令和6年10月評議員会(決議の省略)

決議日 令和7年10月1日(水)
 議 題 第1号議案 理事の選任の件

(2) 理事会の開催

○令和7年5月理事会

開催日 令和7年5月24日(土)
 場所等 淡島学園会議室/理事5名、監事1名出席
 議 題 第1号議案 令和6年度事業報告及び計算書類等の承認の件

第2号議案	社会福祉充実計画の承認の件
第3号議案	定時評議員会で選任する理事及び監事の候補者の件
第4号議案	苦情解決・第三者委員の選考の件
第5号議案	定時評議員会の招集の件

○令和7年6月理事会

開催日	令和7年6月14日（土）
場所等	淡島学園会議室／理事5名、監事2名出席
議 題	第1号議案 理事長選定の件
	第2号議案 業務執行理事の選定の件

○令和7年9月理事会（決議の省略）

決議日	令和7年9月16日（火）
議 題	第1号議案 評議員会の招集の件（欠員となった理事1名の選任の件）

○令和7年12月理事会

開催日	令和7年12月13日（土）
場所等	淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席
議 題	第1号議案 令和7年度第1次補正予算の承認の件
	第2号議案 役員賠償責任保険契約締結の承認の件

○令和8年3月理事会

開催日	令和8年3月14日（土）
場所等	淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席
議 題	第1号議案 令和7年度第2次補正予算の承認の件
	第2号議案 令和8年度事業計画及び当初予算の承認の件
	第3号議案 各種規程等の変更の件
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の少額随意契約額の改正に伴う「阿南淡島会経理規程」の変更 ・ 協力医療機関の廃院に伴う「指定障害者支援施設淡島学園運営規程」の変更 ・ 労働条件通知書の見直しに伴う「有期契約職員就業規則」の変更

（3）監事監査の実施

開催日	令和7年5月16日（金）
場所等	淡島学園会議室／監事2名出席
結 果	令和6年度の本部会計、施設会計、短期入所事業会計、相談支援事業会計の執行状況及びこれに伴う関係書類並びに法人、施設の運営状況、また、法人、施設の運営状況の各項目を監査し、適正に執行できていると認められた。

5 職員の状況

(令和8年3月31日現在)

常勤職員	園長	事務員	サービス管理責任者	生活支援員	看護師	栄養士	相談支援専門員	常勤職員合計 ①	非常勤職員 ②	職員の総数
										①+②
男	0	1	0	15	0	0	1	17	1	18
女	1	3	1	14	2	1	1	23	7	30
計	1	4	1	29	2	1	2	40	8	48
6年度	1	4	1	27	1	1	2	37	13	50

※複数の職を兼務している職員は、本務の職に計上。

※職員数には、3月末退職者を含む。

6 法人が運営する事業内容

事業所の名称	サービスの種類	指定権者	指定の有効期間	備考
◎ 障害者支援施設 淡島学園	・生活介護	・徳島県知事	令和5年10月1日から 令和11年9月30日まで	・定員80名
	・施設入所支援			・定員70名
	・短期入所支援	・徳島県知事	令和6年10月1日から 令和12年9月30日まで	・定員2名
	・日中一時支援	・4市町の長	毎年度更新	・定員5名
◎ 相談支援事業 淡島学園	・指定特定相談支援 ・指定障害児相談支援	・阿南市長	令和6年4月1日から 令和12年3月31日まで	
	・指定一般相談支援(地域移行) ・指定一般相談支援(地域定着)	・徳島県知事	令和7年4月1日から 令和13年3月31日まで	

※「日中一時支援」の契約市町：徳島市、小松島市、阿南市、那賀町

<相談支援に係る受託事業>

受託事業の名称	受託した事業の内容	委託先の市町	委託契約の期間	備考
○ 障害支援区分 認定調査業務 の委託	阿南市他から通知のあった対象者の障害支援区分を認定するために必要な調査を行い報告	・阿南市 ・小松島市 ・大阪市 ・高知市	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで	
○ 相談支援事業 委託業務	障害者に対する相談支援、住居居等の支援、成年後見制度の利用支援などを実施	・阿南市 ・那賀町	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで	
○ 障害者虐待の 防止と対応に 関する支援事業 の委託	障害者虐待を受けた障害者の保護のため、障害者及び養護者に対して行う相談、指導及び助言等の支援など	・那賀町	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで	

1 事業所運営の総括

利用者の自立と社会生活への参加の促進を図り、その育成に必要な支援及び訓練を実施。また、利用者
の人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援を行うことが重要と認識して、利用者及びその家族の
ニーズを的確にとらえた「個別支援計画」を作成し、適切なサービスが提供できるよう努めた。
さらに、できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、
障害者支援施設、障害福祉サービス事業を行う者、その他保健医療や福祉サービスを提供する者との密接
な連携に努めた。

2 福祉サービスに関する事業所の体制

(1) 人権擁護及び虐待の防止委員会

職員に対し、人権擁護及び虐待の防止に関する研修を行い、常に利用者やその保護者に対し「人権擁護
及び虐待防止」等の意識を持って支援するとともに、組織体制を整備した。

- ・ 責任者 園長
- ・ 専従委員 サービス管理責任者3名（うち2名が受付担当）、生活支援員12名

(2) 苦情解決体制

苦情に対応しその解決を図るため、受付窓口、責任者、第三者委員等を選任するなど、苦情解決体制
を整備した。※令和7年度は4件の苦情あり。（令和6年度は3件）

- ・ 相談窓口 淡島学園 電話（0884）22-0379/FAX（0884）22-6648
- ・ 責任者 園長
- ・ 受付担当 サービス管理責任者2名
- ・ 第三者委員 法人評議員1名、法人監事1名

■ 苦情解決事項		
苦情受付日及び申出人	苦情の内容	学園の苦情への対応状況
① 令和7年06月07日 利用者の親	「毎年6月は火曜日も入浴日になっていたが、今年なくなった理由は。」「これまで同様、入浴を実施してほしい」との要望あり。	→ 「今年は6月の火曜日に会議や行事を入れてしまったので、入浴を中止した」と説明。保護者会からも入浴実施の要望があり、園内で相談して希望に添える形でできるだけ実施すると回答。
② 令和7年06月13日 利用者の親	学園発送の「資格確認書の申請」の内容が正しくない。マイナカードと健康保険症の紐づけを解除したくないので、マイナカードを学園で預かってほしい。	→ 送付書類の内容は厚労省のサイトで確認したもので間違いはない。学園ではマイナカードは原則、預からない方針。資格確認書を取得しない方の受診は家庭で対応願いたい旨、回答。
③ 令和7年06月16日 利用者の親	子どもの話だと「食事の際、隣の利用者があれこれ言うのでいやだ」と言っているので、相談に乗ってほしい。	→ 相談を受けて席替えした。
④ 令和8年03月13日 利用者の親	帰園時に同室者がついて来てポケットを触るなど嫌がる行為があるので、部屋を替えてほしい。また、その場にいた支援員が注意しないのはいかがなものか。	→ 居室は変更する。同室者には本人が嫌がる行為をしないよう注意する。

■事故報告											
年度/区分	事 故 の 内 容						事故総数 (左記の計)	ヒヤリハット			
	誤薬等	骨折等	転倒等	暴 力	無断外出	その他		転倒等	暴 力	その他	(計)
令和7年度	5	1	11	4	1	5	27	7	4	5	16
令和6年度	5	5	23	2	4	3	42	2	5	11	18

(原因と対応)

- 入所者の高齢化が進み、「転倒」する事例が多くなっている。また、突発的に「暴力」を振るう利用者があるため、利用者の特性を理解し、常に緊張感をもって支援するよう指示。
- ヒヤリハット事例については、重大な事故につながらないように、再度のマニュアル徹底を指示。

(3) 給食委員会

給食をよりおいしく食べられるよう、献立、味付け、量などについて、委託業者と学園職員が月1回協議の場を設けた。

- ・ 委託業者 「ミント」の職員、栄養士、調理員
- ・ 淡島学園 園長、栄養士1名、サービス管理責任者3名、生活支援員2名

(4) 防災委員会

火災だけでなく、地震、津波による被害を防ぐため、毎月1回話し合いの場を設けた。

- ・ 責任者 園長
- ・ 委員 防災管理者1名、サービス管理者3名、生活支援員4名

(5) 班長会

利用者のサービス向上に向けて、4つの班の現状と課題を検討するため、毎月1回、班長等参加の定例会を開催した。

- ・ 構成員 園長、サービス管理責任者3名、班長（生活支援員）4名

(6) 危機管理委員会

新型コロナをはじめとする感染症対策や感染症発生時における対応策などについて話し合うため、毎月1回委員会を開催した。

- ・ 責任者 園長
- ・ 委員 サービス管理責任者3名、生活支援員12名

(7) 感染対策委員会

学園内における感染対策の在り方や健康管理マニュアルの見直しなどについて話し合うため、毎月1回委員会を開催した。

- ・ 責任者 園長
- ・ 委員 サービス管理責任者3名、看護師1名、生活支援員9名

(8) 入所判定委員会

退所により入所枠が空いた場合、新たな利用者の入所の可否について協議するため、必要に応じて開催した。

- ・ 責任者 園長
- ・ 委員 サービス管理責任者3名、相談支援専門員3名、事務員1名、看護師1名 他各担当者

(9) 居室整備委員会

入所者が季節に応じて快適に生活を送ることができるよう、居室内の整理や支援の方法などを話し合うため、毎月1回話し合いの場を設けた。

- ・ 責任者 園長
- ・ 委員 サービス管理責任者3名、生活支援員8名

3 支援事業実施報告

(1) 生活介護事業

昼間において常に介護を必要とする利用者について、各自の障害の程度や希望を取り入れ、生活班と作業班に分けて個別支援計画を立て、各班独自の支援を行った。生活班は、基本的な生活習慣である食事、排せつ、清潔、睡眠、衣類の着脱等に主眼を置いて実施。作業班では、利用者の能力に応じた作業訓練を通じて、作業参加による満足感や達成感を味わい、自主性・協調性・勤労意欲を養うことで、社会の一員として活動しているとの認識を持てるよう支援した。

(2) 施設入所支援事業

夜間における入浴、排せつ、食事等の介護を行い、夜間の生活におけるくつろぎの場を提供し、就眠の確保を図るよう支援。職員は利用者一人ひとりの要望に応じて、常にきめ細やかな支援を行うよう心がけた。

(3) 短期入所事業

居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者等につき、入浴、排せつ、食事の介護、その他必要な支援を実施。なお、感染症の集団感染が発生した11月と1～2月には、感染防止の観点から受入れを中止した。

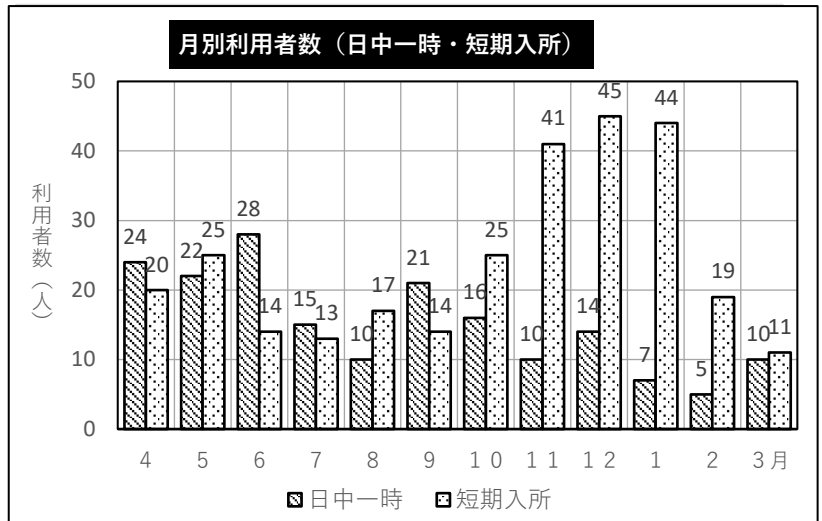
(4) 日中一時支援事業

障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息の時間を提供するため、障害者及び障害児に活動の場を用意し、社会に適應するための日常的な訓練を支援。なお、感染症の集団感染が発生した11月と1～2月には、感染防止の観点から受入れを中止した。

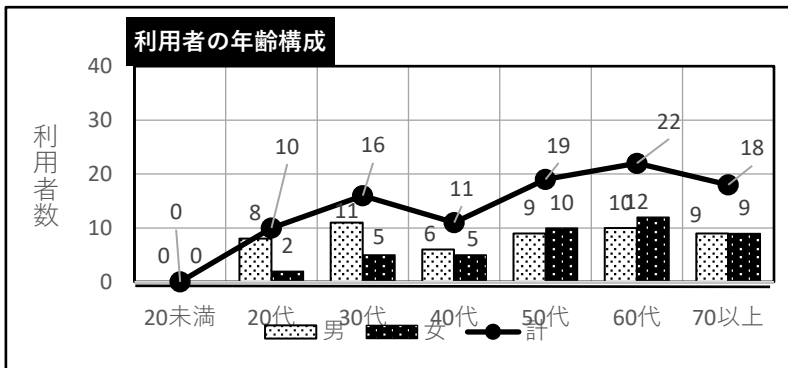
<支援区分別利用者の状況> ()内は平均利用者数

(令和8年3月31日現在)

支援区分		07年度	06年度
生活介護	男	53	53
	女	43	40
	計	96(82.7)	93(82.8)
施設入所支援	男	40	39
	女	36	34
	計	76(71.3)	73(70.5)
短期入所事業	男女延べ人数	288	216
日中一時支援	男女延べ人数	182	497

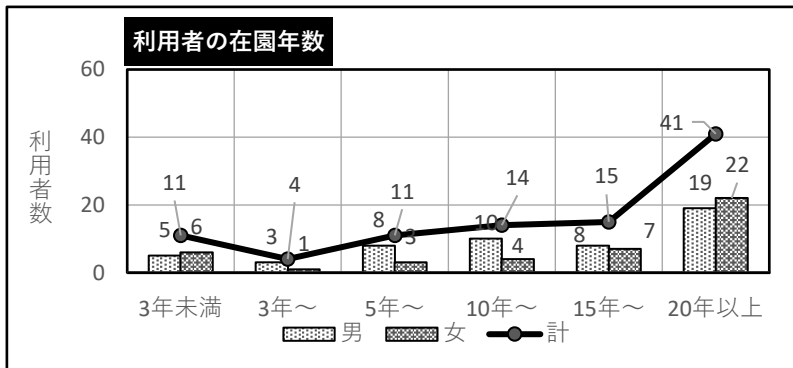


<生活介護・利用者の年齢構成・在園年数>



<利用者の年齢構成>

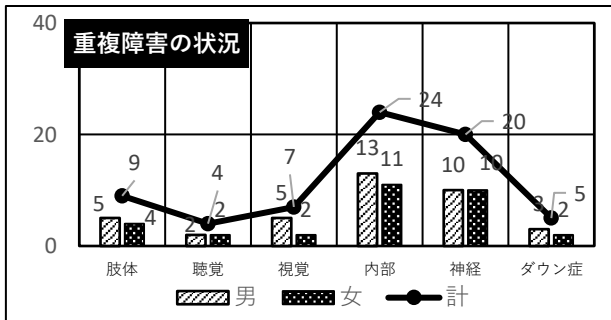
- 最高年齢 87歳
- 最低年齢 22歳
- 平均年齢 53.0歳



<利用者の在園年数>

- 最短は 1年未満
- 最長は 62年
- 平均は 23.6年

<重複障害の状況、障害の程度・区分>



程度	療育手帳			障害支援区分			
	男	女	計	区分	男	女	計
A1	22	10	32	6	26	19	45
A2	22	18	40	5	15	11	26
B1	6	10	16	4	10	7	17
精神	2	4	6	3	2	5	7
その他	1	1	2	2	0	1	1
計	53	43	96	計	53	43	96

<生活介護・市町村別利用者の状況>

(令和8年3月31日現在)

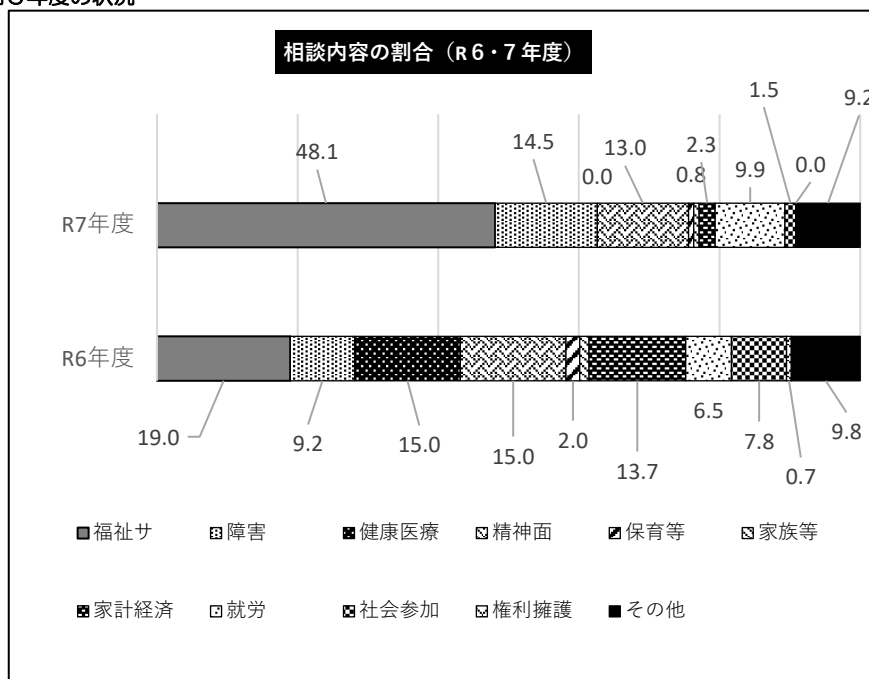
令和7年度	市町村別															合計	
	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	美馬市	上勝町	神山町	那賀町	美波町	海陽町	上板町	大阪市			
男	7	1	8	27	1	1	0	1	0	2	3	1	1	0			53
女	5	0	8	22	0	0	3	1	1	2	0	0	0	1			43
計	12	1	16	49	1	1	3	2	1	4	3	1	1	1			96
6年度	12	1	16	47	1	1	3	1	1	4	3	1	1	1			93

(5) 相談支援事業

地域の障害者または障害者の保護者からの福祉に関する相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うとともに、これらの者と市町村及び指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整を実施。また、利用者別のサービス利用計画の作成等も行った。

<相談支援の利用状況> ()内は令和6年度の状況

市町別	利用者の実人数	
	障害者	障害児
・小松島市	(1)	(0)
・阿南市	48 (44)	2 (3)
・那賀町	2 (2)	3 (2)
※ 計	50 (47)	5 (5)



<計画相談の利用状況>

(単位:人)	7年度	6年度
・障害者	816	725
・障害児	162	216
※ 計	978	941

4 利用者へのサービス提供の状況

(1) 健康管理支援

高齢化に伴う体力の低下とともに疾病が増えることから、年2回の定期健康診断により疾病の早期発見・早期治療に努めた。また、高齢者に対してはそれぞれの健康状態に応じて内科検診のほか、歯科、耳鼻科、皮膚科、眼科等の検診も行うなど、きめ細やかな支援に努めた。

※令和7年度の医療機関受診の延べ人数は、全体で 1,148人（平均 15 回）／前年度 798人（平均 11 回）

・男子 543人（平均 14 回）／前年度 346人（平均 9 回）

・女子 605人（平均 17 回）／前年度 452人（平均 13 回）

■入所者の医療機関受診状況							
医療機関名	診療科目	所在地	年間の受診状況（人）			令和6年度	
			男子	女子	合計		
協力医療機関	・村上内科外科医院	内科・外科	阿南市	208	229	437	130
	・富田病院	精神科	美波町	7	44	51	65
	・虹の橋養ホスピタル	精神科	徳島市	24	40	64	81
	・杜のホスピタル	精神科	阿南市	131	100	231	189
	・神原歯科医院	歯科	〃	6	7	13	31
その他	・上村皮膚科	皮膚科	〃	1	8	9	20
	・阿南医療センター	内科ほか	〃	29	24	53	48
	・その他			137	153	290	234
（合計）				543	605	1,148	798

■利用者の健康管理等		
実施区分	実施医療機関等	実施状況
○健康相談	・村上内科外科医院	月1回
○定期健康診断	・村上内科外科医院（4・9月）	年2回
○レントゲン診断	・とくしま未来健康づくり機構（7月）	年1回
○歯科診療	・歯科医師会の派遣歯科医（1～2月）	年1回
○臨床実習・歯磨き指導	・四国歯科衛生士学院専門学校（11月2回・12月1回）	年3回
○歯科往診	・吉田歯科	月1回
○口腔ケア	・歯科衛生士の資格を有する非常勤職員	週1回
○インフルエンザ予防接種	・村上内科外科医院（11月）	年1回
○長期投薬者の健康診断	・富田病院、虹の橋養ホスピタル、杜のホスピタル	随時
○害虫（ゴキブリ）駆除	・(株)ニッシンテクノス（5・11月）	年2回
○AEDの設置	・自動体外式除細動器	保健室

(2) 給食支援

健康管理の面から肥満、高血圧、高コレステロール、糖尿病、痛風、アレルギー等の予防に力を入れ、食事の摂取量や内容、運動量に留意してきた。また、既に病気を持つ利用者には担当医の指示に従い、療養食献立と投薬で回復を図ってきた。

(3) 災害対応支援

災害対応の避難訓練は、高齢者や身体障害のある利用者が多いため、昼間だけでなく深夜の発災も想定して実施。また、AED使用に熟練できるよう全職員を対象にした講習会を行うとともに、テレビや新聞などの災害報道を職員や利用者にも周知することにより、防災意識が高まるよう努めた。

さらに、「防災棟」は、津波や洪水の際に利用者が数日間避難できる場所と備蓄品の置き場、利用者の衣類等の保管庫を備えた災害対応施設として活用。

(4) 保健衛生

常に手洗い、消毒などに留意し、食中毒、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防に努めた。

「新型コロナウイルス」感染防止対策として、手指消毒、園舎内消毒、マスク着用、入所者の外泊及び通所による利用の制限などを行った。（第1編 法人の部2p参照）

(5) クラブ活動

習字や絵画の作品は力作が多いことから、展覧会で高い評価が得られた。また、茶道クラブは外部から指導者を招いており、礼儀作法や集中力を身に付け、心を豊かにすることに寄与。

(6) 環境整備と施設整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓・清潔に努めるとともに、月1回「環境の日」を設け、各所の清掃を実施。また、施設・設備が壊れたりしているのを発見した場合、直ちに修理等を行うなど、利用者が安心して心地よい生活ができるよう努めた。（第1編 法人の部3p参照）

(7) 職員の資質向上

生活介護と入所支援の必要な知識や技能を身につけ、障害の特徴と留意すべきことを理解し、援助に必要な知識や技能を具体的に捉えるなど、人的資源の提供に努めた。

また、支援担当職員の資質向上に向けては、月1回の施設内研修に加えて、外部の研修会への参加を促進するなど、援助に必要な知識や技能が高められるよう努めるとともに、社会福祉士等の資格取得費の半額を補助することで有資格者が増えるよう努めた。

■施設内研修

月	研 修 内 容	分類	講師（事例発表者）	参加者
4	排泄ケア研修	そ の 他	白十字社 棚橋様	27
5	口腔ケアについて	感 染 症	四国歯科衛生士学院 船奥様	29
6	交通安全講習	法令遵守	阿南警察署 森様	26
	事故等における職員対応マニュアル講習会	そ の 他	サビ管（柏木）	28
	しあわせな日々のためのアンガーマネジメント研修	虐待防止	センター東病院 佐々木様	27
7	南海トラフ巨大地震に備えて講演会	業務継続計 画	県南部県民局 谷口主任主事	24
8	感染症を防ぐための手洗いの基本	業務継続計 画	阿南医療センター 原崎様	23
9	身体拘束適正化のための指針に関する研修	身 体 拘 束 適 正 化	サビ管（柏木）	26
	防災関係のBCPに関する研修	業務継続計 画	サビ管（柏木）	29
10	心肺蘇生法とAEDの活用方法（1班）	そ の 他	阿南市消防本部 2名	14
11	心肺蘇生法とAEDの活用方法（2班）	そ の 他	阿南市消防本部 2名	19
12	入所者の地域移行等意向確認及びコンプライアンス研修	法令遵守	サビ管（柏木）	27
1	来年度に向けての見直し（1）	そ の 他	サビ管（柏木）	27
2	来年度に向けての見直し（2）	そ の 他	サビ管（柏木）	33
	個人情報保護に関する研修	法令遵守	社会保険労務士 玄番様	30
3	来年度に向けての見直し（3）	そ の 他	サビ管（柏木）	27
	障害者虐待防止研修	虐待防止	とくしま医療センター東病院 佐々木様	30

年間の受講者の延べ人数 → (446)

■施設外研修

月	研 修 内 容	分類	出 席 者	延べ人数
4	福祉避難所の設置・運営に関する研修会（15日/WEB）	業務継続計 画	生活支援員 1名	1
5	チームリーダー研修会（14日/WEB）	そ の 他	〃	1
	新任職員研修「支える人の支え方」（28日/ガラウイリ）	そ の 他	〃	1
	高次脳機能障害支援者養成研修（基礎）（29日・30日/徳大）	そ の 他	相談支援専門員	2
6	職員研究集会「震災時の職員派遣」（13日/総福セ）	業務継続計 画	〃	1
	強度行動障がい支援者養成研修（基礎）（18日・19日/総福セ）	虐待防止	〃	2
	中堅職員研修「直面する課題の向き合い方」（25日/アスティ）	虐待防止	〃	1
	給食施設における衛生管理研修（30日/阿南保健所）	感 染 症	サビ管、栄養士	2
7	中四国知的障害関係職員研究会（16日・17日/岡山市）	そ の 他	相談支援専門員	2
	福祉協会総務部会研修「カスハラ対策」（22日/アスティ）	そ の 他	事務員	1
	高次脳機能障害支援者養成研修（実践）（24日・25日/徳大）	そ の 他	相談支援専門員	2
	福祉協会生活支援部会研修「給食」（30日/未来）	そ の 他	栄養士	1
8	クレーム対応力強化セミナー（21日/アスティ）	法令遵守	サビ管	1
9	給食施設協研修「災害時の食物アレルギー対応」（4日/WEB）	そ の 他	栄養士	1
	強度行動障がい支援者養成研修（実践）（25日・26日/総福セ）	虐待防止	生活支援員	2
	相談支援従事者研修（現任）（25日/徳島市）	そ の 他	相談支援専門員	1

月	研 修 内 容	分 類	出 席 者	延べ人数
10	安全運転管理者講習会（2日～/夢ホール）	そ の 他	生活支援員	1
	給食施設における災害体制整備研修（3日/阿南保健所）	業 務 継 続 計 画	栄養士	1
	サビ管更新研修（23日/WEB）	そ の 他	サビ管	1
	サビ管更新研修（28日・29日/総教セ）	そ の 他	〃	2
	パートタイム・有期雇用労働法関係研修会（29日/ハローワーク）	法 令 遵 守	事務員	1
11	8020運動推進特別事業研修会（6日/阿南保健所）	そ の 他	生活支援員	1
	四国地区障害者関係職員研修会（6日・7日/丸亀市）	そ の 他	〃	2
	全国社会福祉大会講演会（12日/東京都）	そ の 他	〃	1
	年末調整研修会（18日/夢ホール）	そ の 他	事務員	1
	相談支援従事者研修（現任）（26日/徳島市）	そ の 他	相談支援専門員	1
	全国知的障害福祉関係職員研究大会（26日・27日/郡山市）	そ の 他	栄養士	2
12	監事監査研修「社福法人のガバナンス」（1日/WEB）	法 令 遵 守	事務員	1
	糖尿病地域医療連携体制研修会（16日/阿南保健所）	そ の 他	栄養士	1
	強度行動障がい支援者養成研修(基礎)（18日・19日/総福セ）	虐 待 防 止	生活支援員	4
1	会計処理・決算実務研修会（13日/WEB）	法 令 遵 守	事務員	1
	会計処理・決算実務研修会（14日/WEB）	法 令 遵 守	〃	2
	公正採用選考人権啓発研修（19日/WEB）	法 令 遵 守	生活支援員	1
	キャリアパス・アクション研修会（19日/WEB）	そ の 他	栄養士	1
	メンタルヘルス研修会（28日/WEB）	そ の 他	生活支援員	1
	相談支援・サビ管研修「就労支援」（26日・28日/徳島市）	そ の 他	相談支援専門員	2
	虐待防止・権利擁護研修（29日/アライ）	虐 待 防 止	サビ管	1
	相談支援従事者研修（現任）（29日/徳島市）	そ の 他	相談支援専門員	1
2	給食協研修会「県民の健康・栄養状況」（18日/WEB）	そ の 他	栄養士	1
	福祉避難所の開設訓練（19日/阿南荘）	業 務 継 続 計 画	生活支援員	1

年間の研修等受講者の延べ人数→（ 54 ）

※前年度の延べ受講者数は46人

5 利用者の作業支援の状況

新型コロナウイルス感染防止対策として、令和2年9月から通所者だけの「スマイル班」を編成するとともに、令和7年度からはエール班、カモト班及びアサヒ班を再編して2班に集約。全体で4班体制としました。

(各班の人数は令和8年3月31日現在)

(1) フラワー班 (23名/男12名・女11名)

身体の保持と情緒の安定を図り、基本的な生活習慣の確立及び身体各部の機能訓練を行い、心と体の調和した発達を支援。特に、個々の能力を把握し、障害の程度に応じた機能訓練及び基本的な生活習慣を重点に支援しました。また、各種運動を取り入れ、体力づくりと機能低下防止に努めてもらいました。

(2) スマイル班 (20名/男13名・女7名)

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、令和2年9月から通所者を「スマイル班」に集約。作業室への出入口及び昼食場所については入所者と分離し、できるだけ接触がないようにしました。通所者を一つの班に集約したため、個々の能力に応じた作業訓練メニューをつくり、自主性や協調性を身につけられるよう支援しました。

(3) エール班 (25名/男14名・女11名)

園芸の部門では、作業を行う際、個々の能力にあった役割を分担し、作業意欲や安定性、確実性の醸成とともに興味や自信を持ち、楽しく作業に参加できるよう支援しました。ソーイング部門では、手芸品などの制作を通じて、ものづくりの喜びと楽しさを知り、協調性や責任感を持てるよう支援しました。そして、商品として社会の中で流通するという認識を持つことで、ものを大切にするという気持ちを持ってもらうとともに、作業への参加が社会経済活動であると認識できるよう努めました。

また、地域住民との交流を通じて社会性が向上するよう、清掃活動やボランティア活動への参加を促進するとともに、洗濯作業を通じて清潔感を養い、生活のスキルが高まるよう支援しました。

(4) ピース班 (28名/男14名・女14名)

作業を通じて、意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びを知るとともに他の利用者と協調性を図り責任感を持ってもらえるようにしました。また、生活支援を通じて清潔感を醸成し、規則正しい生活習慣を身につけてもらえるように努めました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力が養われるよう支援しました。

6 利用者の活動状況

(1) 利用者の日課

利用者の日課表		
	平 日	土 日 祝 日
07:00	起床・洗顔	起床・洗顔
07:15	手洗い、朝食準備	手洗い、朝食準備
07:30	朝食、終了後自由時間	朝食、終了後自由時間
08:30	ホームルーム、検温	08:30~10:00 朝会、体温・血圧測定 (日曜)洗面用具の点検消毒など
08:45	職員朝会	
09:00	利用者朝会	
09:10	モーニングウォーク	
09:30	清掃、人数確認、洗顔、歯磨き、検温 班別支援(作業)、保健衛生、血圧測定	10:00 ティータイム 自由時間(買物実習)
11:50	手洗い・昼食準備	手洗い・昼食準備
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	班別支援(作業)、検温、入浴	自由時間(買物実習)、検温
15:00	体操、ジュース、班別支援(作業)、検温	ティータイム、自由時間
16:00	居室の清掃	居室の清掃、自由時間
16:30	ホームルーム、自由時間	
16:45	手洗い・夕食準備	手洗い・夕食準備
17:00	夕食、終了後自由時間	夕食、終了後自由時間
17:30	自由時間	自由時間
19:00	検温	検温
21:00	就寝準備	就寝準備
22:00	就寝	就寝

※入浴は、男女とも、6月～9月は月・火・水・金、10月～5月は月・水・金に実施。

(2) 年間の活動状況

参加者数欄の()は引率職員の人数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)	参加者数	スポーツ・地域交流	
		(○スポーツ、●交流)	参加者数
■4月			
○ドライブ			
①フラワー班(10日/小松島・狸公園)	24名(5)		
②スマイル班(9日/太龍寺)	11名(4)		
③エール班(8日/岩脇公園)	24名(3)		
④ピース班(24日/竜宮公園)	26名(4)		
○アフタヌーンティ(園内)			
①フラワー班(10日)	24名(5)		
②スマイル班(10日)	11名(4)		
③エール班(22日)	24名(3)		
④ピース班(22日)	26名(3)		
○バースデーランチ(15日/豚太郎)	4名(2)		
○春の健康診断① (8,10,11,14,24,25日/村上内科)	58名		
○口腔ケア(1,8,15,22,30日/学園)	35名		

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
	参加者数		参加者数
■5月			
○テイクアウト食(園内) ①わんすとおっぱ(1日) ②モスバーガー(23日) ○さくらサーカス見学(13日) ○春の健康診断②(14.15.20日/村上内科) ○ふれあい弁当の日(22日/園内) ○行楽 ①フラワー班(16日/日和佐道の駅)	25名(3) 22名(3) 17名(5) 33名 86名(28) 23名(5)	○ノーマビックスports大会(10日) ○春の健康ウォーク(22日)	14名(2) 87名(28)
■6月			
●美化活動(7日)→保護者28名参加 ○バースデーランチ(17日/豚太郎) ○アフタヌーンティ(園内) ①フラワー班(27日) ②スマイル班(13日) ③エール班(13日) ④ピース班(27日) ○日帰り旅行 ①1班(12日/とくしま動物園) ②2班(24日/香川・四国水族館) ○ドライブ ①フラワー班(10日/小松島しおかぜ公園) ○口腔ケア(4.10.17.24日/学園)	4名(2) 23名(5) 10名(4) 24名(4) 26名(6) 13名(4) 20名(6) 23名(5) 37名		
■7月			
○テイクアウト食(園内) ①三カ茶屋(3日) ②ほっともっと(18日) ○結核検診(8日/学園) ○納涼祭(23日/園内) ○バースデーランチ(8日/豚太郎) ○買物実習 ①1班(18日/アピカ) ②2班(27日/アピカ) ○口腔ケア(2.9.16.22.29日/学園)	23名(3) 23名(3) 87名 各班別 3名(2) 13名(5) 13名(5) 45名	●作品展見学(8日/那賀川図書館) ●Tシャツデザイン表彰式 (11日/障害者交流プラザ)	15名(3) 2名(1)
■8月			
○バースデーランチ(28日/豚太郎) ○アフタヌーンティ(園内) ①フラワー班(22日) ②スマイル班(22日) ③エール班(29日) ④ピース班(22日) ○ドライブ ④ピース班(29日/日和佐・竜宮公園) ○口腔ケア(5.20日/学園)	4名(2) 23名(4) 10名(4) 22名(3) 27名(7) 25名(4) 20名		

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
	参加者数		参加者数
■ 9月			
○秋の定期健康診断(9日~/村上内科)	91名	●淡島海岸ビーチクリーン(20日/淡島海岸)	5名(1)
○ドライブ		●mogu祭見学(28日/就労支援A型mogu)	5名(1)
①フラワー班(3日/日和佐)	23名(5)		
②スマイル班(3日/太龍寺)	10名(3)		
○季節の行事			
①ドライブ(11日/おもちゃ美術館)	18名(4)		
②カラオケ(16日/マルイ)	13名(3)		
③映画(30日/イオンシネマ)	16名(4)		
○テイクアウト食(園内)			
①豚太郎(2日)	18名(5)		
②コメダ(19日)	20名(3)		
○パースデーランチ(24日/豚太郎)	4名(2)		
○起震車体験(18日/園内)	40名(5)		
○還暦を祝う会(24日/園内)	対象者1名		
●美化活動(27日)→保護者23名参加			
○口腔ケア(3.25日/学園)	20名		
■ 10月			
○アフタヌーンティ(園内)		○スポーツ練習会(2日/前山公園)	9名(2)
①フラワー班(9日)	23名(4)	○学園運動会(10日/学園グラウンド)	83名(35)
②スマイル班(29日)	10名(3)	○ゆうあいスポーツ(15.16日/丸亀市)	9名(4)
③エール班(23日)	24名(4)	○フライングディスク大会(24日/春叢園)	5名(1)
④ピース班(14日)	27名(6)	○四国歯科衛生士学院学生との ミニ運動会(29日/学園)	85名
○ドライブ			
③エール班(14日/大浜海岸)	24名(4)		
○パースデーランチ(21日/ドライブイン阿南)	6名(2)		
○巡回臨床実習(8.23日)	67名		
○口腔ケア(15.31日/学園)	20名		
■ 11月			
○テイクアウト食(園内)			
①豚太郎(4日)	25名(4)		
②モスバーバー(28日)	24名(3)		
○年末買物実習(11日/マルナカ外)	12名(4)		
○パースデーランチ(10日/豚太郎)	5名(2)		
○害虫駆除の日・食事会(13日/園内)	84名(27)		
●保護者・職員親睦日帰り旅行(7日/神戸市)	14名(4)	→保護者22名参加	

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)	参加者数	スポーツ・地域交流	
		(○スポーツ、●交流)	参加者数
■ 12月			
○アフタヌーンティ (園内) ①フラワー班 (19日) ②スマイル班 (19日) ③エール班 (15日) ④ピース班 (17日) ○年末買物実習 (4日) ○年末大掃除 (2日・19日/園) ○インフルエンザ予防接種 (11日/学園) ○バースティプレゼント (24日/学園) ○クリスマス会 (11日/学園) ○四電青年部Xマス贈呈式 (11日/学園) ○口腔ケア (17日/学園)	21名 (5) 11名 (3) 25名 (3) 26名 (5) 16名 (6) 各班職員 91名 8名 各班利用者 利用者代表 10名	●人権フェスティバル見学 (7日/夢ホール) →19日はワックスがけ	8名 (1)
■ 1月			
○テイクアウト食 (園内) ①小僧寿し (6日) ②わんすとっぷ (23日) ○県歯科医師会の巡回検診 (8日) ○バースデーランチ (27日/コメダ珈琲店) ○口腔ケア (13.30日/学園)	19名 (3) 26名 (3) 46名 3名 (2) 20名	●初詣 (1日/富岡・円長寺) →インフル集団感染のため「プレゼント」に変更 (8名)	13名 (2)
■ 2月			
○アフタヌーンティ (園内) ①フラワー班 (20日) ②スマイル班 (27日) ③エール班 (13日) ④ピース班 (19日) ○県歯科医師会の巡回検診 (19日) ○バースデープレゼント (21日) ○新年会 (17日/園) ○口腔ケア (24.27日/学園)	23名 (7) 10名 (5) 25名 (4) 26名 (3) 46名 8名 各班別 20名	→全員プレゼントを希望したため	
■ 3月			
○テイクアウト食 (園内) ①かまどや (3日) ②マクドナルド (24日) ○ドライブ ①フラワー班 (19日/日和佐) ②スマイル班 (4日/明谷梅林) ③エール班 (17日/勝浦人形文化交流館) ④ピース班 (13日/阿南西部公園) ○バースデーランチ (25日/豚太郎) ○淡島祭 (9日/園) ○口腔ケア (2.17日/学園)	20名 (3) 24名 (3) 23名 (6) 11名 (4) 19名 (5) 26名 (5) 7名 (2) 73名 (34) 20名	●リパークリール活動 (15日/浜の浦緑地) ○モーニングウォーク大会 (18日/園周辺) →外部来園者：約300名	4名 (1) 85名 (26)

※上記のほか、学園内でHappy体操 (毎月2回)、絵画教室 (毎月2回)、茶道 (月1回)、出張スポーツ (毎月1回)、利用者の散髪 (年9回) を実施。(新型コロナ等の感染拡大期には延期・中止等あり)

